

## 1. 技能者のメリット

- ①CCUS情報を活用した能力評価と、レベルごとの年収目安の明確化による、**賃金水準の相場感の形成**、引き上げ/ダンピング受注防止
- ②現場や勤務先が変わっても、**自らの能力を客観的に証明可能に**
- ③**カードリーダータッチ**で日々310円の**建退共掛金を積み立て**（元請が一括して掛金支払い）

## 2. 下請業者側から見たメリット

- ①自社が雇用する技能者の数や保有資格、社会保険加入状況等が明らかになり、**取引先からの信頼が得やすくなる**（＝**企業の実力の見える化**）
- ②技能者の能力評価と連動した専門工事企業の**施工能力等の見える化（4段階評価）**
- ③**出面管理**のIT化、**賃金や代金支払いの根拠**が明確に

## 3. 元請や上位下請から見たメリット

- ①初めて仕事する下請業者の実力や技能者の資格等(\*)の確認ができ、**施工の安心感**につながる  
\*社会保険加入状況や安全衛生資格保有の有無、一人親方の労災特別加入状況
- ②PCで作業の進捗状況の確認や下請への支払いの適正化などの**現場管理の効率化**
- ③施工体制台帳、作業員名簿の作成、建退共の証紙受払・貼付等の**作業の簡素化、ペーパーレス化**
- ④増える**外国人労働者の資格等の確認**が容易に



建設業界全体としては、  
CCUSが普及することで……

- 若い世代への建設業のイメージアップ
- 施主に対する価格交渉力アップ（エビデンスに基づく請求が可能）
- 真に実力がある企業が選ばれる透明性の高い建設市場への変革